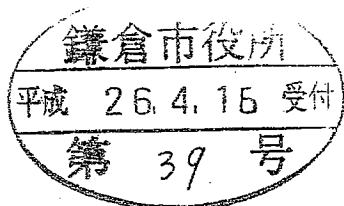


相互提案協働事業 報告書

平成26年 4月16日

(宛先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]

郵便番号 [Redacted]

団体名 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク

代表者氏名 稲田 秀樹

平成 25 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	認知症相談事業
事業概要	<p>認知症の当事者等からの相談を受け、介護福祉士や介護支援専門員等の専門職が認知症の基礎知識や対応方法について適切な助言を行うことで、認知症の当事者等の困難の軽減を図り、また必要に応じてサービスや社会資源の活用に結びつけるよう情報提供を行う。認知症の当事者等の抱える問題の解決が図られるようサポートを行いながら、同時に報告書の作成等を通じて、認知症を取り巻く課題の把握にも努める。</p> <p>また、認知症の周知啓発のための講座を開催し、市民に向けて認知症の正しい知識や対応方法、予防について理解を促す。</p> <p>役割分担 鎌倉市市民健康課…事業の周知、会場の確保、相談の受付にかかわる業務 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク…相談員の派遣、報告書の作成</p>
市担当課	市民健康課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	<p>継続</p> <p>開始 平成 23 年 4 月 1 日 ~</p> <p>○ 終了 平成 26 年 3 月 31 日</p>
協働の形態	市提案協働事業
事業費	226,000円

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者が求める情報を把握することができた ・相談者に対し専門知識を活かして情報提供を行った ・相談者のニーズに合わせて資料等の提供を行った ・相談内容を鎌倉市市民健康課に報告した ・認知症の周知啓発の講座を開催し市民に対して正しい知識と対応方法、予防についての理解を促した。 ・当会会報に広告を掲載して事業の周知を行った (*添付資料参照) ・相談員の育成(研修)の機会を設けることができた
	<p><達成できなかった点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者のいない月があった ・相談事業の周知が十分でなかった可能性がある
<p>成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解を促すことで介護負担を軽減することができた ・認知症当事者の不安を軽減することができた ・認知症の予防、基礎知識や対応方法等の啓発につながった ・市民の抱えている課題を担当課に伝える役目を担えた ・相談者の同意を得て地域包括支援センターへ情報提供を行ったケースがあった
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談事業の市民への周知が必要 ・周知の方法として、広報に加え、ケーブルテレビの活用、自治会への回覧、民生委員に周知行ってほしかった。 ・地域包括支援センターや認知症診療を行っている医療機関との連携の在り方(仕組み)が課題として残った。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業としての認知症相談事業は今回で終了となるが、認知症862万人(認知症642万人、軽度認知障害400万人、平成25年6月の推計)の時代を迎え、今後も何らかの形で認知症の周知啓発を行いつつ認知症相談を展開していく必要を感じる。そのことにより市民の不安や負担を軽減し認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していくことが期待される。

添付資料：かまくら認知症ネットワーク会報15号

平成25年度 認知症相談事業報告書

平成25年度 認知症相談事業実施報告書

平成25年度 認知症相談事業決算書

平成25年度 認知症相談事業報告書

平成26年4月11日

(あて先)鎌倉市長

所在地

申請者 団体名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク
代表者名 代表理事 稲田 秀樹

平成25年度、協働事業負担金の申請を受け、認知症相談事業に係る実績について、関係書類を添えて報告します。

1 実経費支出費	250,000円
2 負担金対象経費	224,000円
3 過不足額	26,000円
4 添付資料	(1) 平成25年度 認知症相談事業の決算書 (2) 認知症相談事業実施報告書

平成25年度 認知症相談事業実施報告書

平成26年4月11日

法人名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク
 代表者 代表理事 稲田 秀樹
 住所 [REDACTED]
 協定期間 平成25年4月27日～平成26年3月31日
 相談員 介護福祉士及び介護支援専門員等の有資格者2人以上
 事業内容

- ・ 認知症家族等の介護者及び本人から、認知症の症状の背景、対応の仕方、接し方等について相談を受け、助言を行った。
- ・ 相談員は当会所属の介護従事者であること。また介護福祉士、介護支援専門員等の資格を有していることを要件とした。
- ・ 相談は毎月1回、各相談日3件までとし、1枠の相談時間は約45分。1ケースに対し、専門相談員は2人で対応した。
- ・ 市内医療機関の医師を講師に迎え認知症の周知啓発の講座を行った。

表1 H25年度認知症相談事業実施状況

相談日	相談件(者)数	相談日	相談件(者)数
4月27日	3件(5人)	10月12日	0件(0人)
5月11日	2件(2人)	11月9日	2件(3人)
6月8日	3件(6人)	12月14日	1件(1人)
7月13日	3件(3人)	1月11日	2件(2人)
8月10日	2件(2人)	2月8日	0件(0人)
9月14日	2件(2人)	3月8日	1件(2人)
計			21件(28人)

() は、家族等同伴者を含む数

認知症周知啓発講座	会場	講師	参加者数
10月23日(水)	鎌倉市役所 823会議室	医療法人森と海 メンタル ホスピタルかまくら山 岡田昇院長	30名

平成25年度 認知症相談事業決算書

平成26年4月11日

一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク
代表理事 稲田 秀樹

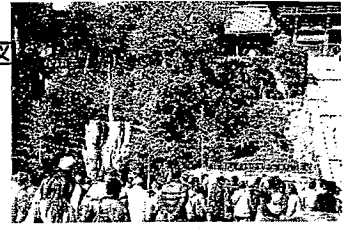
収支決算書

科目	金額	備考
I 収入の部		
(1) 市からの収入	250,000	
(2) 事業収入	0	
収入合計 (A)	250,000	
II 支出の部		
(1) 人件費	13,000	4月27日 相談員謝金2名分
	13,000	5月11日 相談員謝金2名分
1回6,500円×2人×10回分	13,000	6月8日 相談員謝金2名分
	13,000	7月13日 相談員謝金2名分
	13,000	8月10日 相談員謝金2名分
	13,000	9月14日 相談員謝金2名分
	13,000	11月9日 相談員謝金2名分
	13,000	12月14日 相談員謝金2名分
	13,000	1月11日 相談員謝金2名分
	13,000	3月8日 相談員謝金2名分
	12,000	印刷代 他
	24,000	通信費
	8,000	消耗品 他
(2)消耗品費等		
講師謝礼	20,000	
消耗品費 (チラシ制作印刷)	30,000	
支出合計 (B)	224,000	
収支差額 (A) - (B)	26,000	

認知症ケアでつながる人々 稲田秀樹

かまくら認知症ネットワーク代表理事
ケアサロンさくら 施設長

平成22年2月、冷たい風の吹く日曜日の朝、石井清司さん(当時71歳)はいつもの布製の袋を手に提げて鎌倉駅前に現れた。袋の中には駅前で配る観光案内の地図とチラシ、鉛筆、手袋などが入っていた。9時を過ぎると鎌倉駅周辺は観光客でにぎわい始める。石井さんと私は大きな観光地図の書かれた看板の前に立って、地図を見に来る観光客を見つけてはチラシを渡した。「八幡様へはどう行けばいいの?」といった質問があると、石井さんはガイドマップを指で示して道順を説明した。



八幡さまの倒れた大銀杏を見て歩く

チラシ配りが一段落すると、私と石井さんはコーヒーショップであらためて鎌倉の観光マップを広げた。この春に行くかまくら散歩の企画の打合せだ。石井さんのプランはこうだ。季節は桜の咲く春、参加者は鎌倉駅に集合し、小町通りをのんびり散策する、段かずらの桜を見て歩き、大銀杏を横目に石段をのぼり鶴岡八幡宮を参拝、その後は鎌倉宮まで足をのばす。チラシには散歩の企画協力者として石井さんの名前を載せることにした。参加者は認知症の人と家族、介護職や市民など15名程度とした。大方企画が出来上がると、石井さんとの別れ際に握手をした。「よろしく!」と満面の笑みを浮かべて石井さんは言った。

平成22年3月10日未明、樹齢千年を誇っていた鶴岡八幡宮の大銀杏が強風により根元から倒れた。石井さんと企画したかまくら散歩の予定日の2週間前の出来事だった。3月27日のかまくら散歩の当日も、八幡宮の前は倒れた大銀杏を見に来る人でごった返していた。第2回目のかまくら散歩には予定を上回る19人が参加した。参加者のうち認知症の人は4名、他は介護職や家族、市民などだ。埼玉県川口市から若年性認知症の佐藤雅彦さんもひとりで電車に乗って駆けつけてくれた。八幡宮のお参りを終えると、それぞれのペースで歩きながら鎌倉宮へ向かった。鎌倉宮の休憩所で一休みしながら、私はみなに石井さんを紹介した。石井さんと出会わなかったら、このようにしてみなが出会う機会もなかったかもしれないと、そう話した。

認知症になると計画的に物事を実行できない、と言われてきたことが、実はことごとく外れてしまう場合があることに、私は石井さんと付き合ううちに気づかされていく。認知症の人に先導してもらって散歩なんて本当にできるの?と言われたこともある。認知症の人の症状の多くは、偏見や差別的な待遇や何もすることがない環境、その人の声に耳を傾けようとしない専門職などの態度によって増幅されていると、一人一人とていねいに付き合うなかで気づかされていった。アルツハイマー型認知症は進行する病気なので、進行していく過程に多くの困難が待ち受けているのは間違いがない。が、だからこそ今持っている力を発揮してもらおうことが大切なのだ、と私は思うようになっていく。(つづく)



八幡様の太鼓橋の前で記念撮影

- ★3月1日(土)「若年性認知症本人家族・鎌倉のつどい」～本人支援のつどいと家族交流会を行います～ 鎌倉市隠越
- ★3月10日(月)「安心支えあい町づくり会議」～認知症の人も、私たちも、誰でもが安心できるまちづくりとは?～
- ★3月29日(土)「第14回かまくら散歩」～谷戸の春を楽しもう…春の草花に触れながら農作業のお手伝い～ 鎌倉中央公園
- ※2月15日に予定していました「認知症サポーター養成講座」と「認知症サポーターの意見交換会」は雪のため中止となりました。

～ 次号予告 ～

- ☆「第14回かまくら散歩」～谷戸の春を楽しもう～の報告
- ☆「若年性認知症本人家族・鎌倉のつどい」本人の部・家族の部の報告
- ☆「安心支えあい町づくり会議」の報告
- ☆地域の動き、認知症ケアでつながる人々

★会報発行にあたり題字を当会会員で若年性認知症の古川さんのご子息(知的障害のある茂明君)にお願いしました。また、毎月イベントの写真はケアマネジャーの出口慎一氏より提供頂いています。(稲田)

3月・4月の予定

- | | |
|----------|-------------------------|
| 3月1日(土) | 若年性認知症本人家族・鎌倉のつどい |
| 3月8日(土) | 認知症相談 鎌倉市役所 |
| 3月10日(月) | 安心ささえあい町づくり会議 鎌倉市福祉センター |
| 3月28日(金) | 運営会議 NPOセンター鎌倉 |
| 3月29日(土) | かまくら散歩 鎌倉中央公園 |

鎌倉市との協働事業

認知症相談事業(予約制)

専門職の有資格者が症状の背景や介護の仕方について分かりやすく説明!

……かまくら認知症ネットワークが相談員を派遣しています……

3月8日(土)
鎌倉市役所
13:30～16:30

お問合せ・相談のご予約は、鎌倉市役所 市民健康課まで
でんわ 0467-23-3000 内線 2678(受付 8:30～17:15)

入会ご希望の方へ

インターネットで当会の目的、事業内容、会員種別等を確認のうえ FAXにてお申し込み下さい。
～ 申込み用紙はホームページよりダウンロードすることができます ～

FAX 0467-39-5490

<http://kamakuraninchishou.com/>

一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク 事務局
[問合せ先 TEL 0467-47-6685]

会員種別 年会費

1. 個人正会員 3000円
2. 個人賛助会員 2000円(一口以上)
3. 団体賛助会員 2000円(一口以上)

※申込書送付後、年会費をお振り込みください。

郵便振込口座 00240-8-140587

口座名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク